

2013-2014 ROTARY INTERNATIONAL DIST. 2710



ガバナー月信

Vol. 1

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2013年 7月号

SHIMONOSEKI ROTARY CLUB

創刊号



関門海峡

CONTENTS

- 表紙/目次 P1
- ガバナーメッセージ(RIテーマと地区運営方針)・略歴 P2~3
- RI会長メッセージ・略歴 P4
- 地区研修リーダー挨拶 P5
- バストガバナー挨拶/地区代表幹事挨拶 P6
- ガバナー感謝メッセージ P7
- 2013-2014年度 組織図 P8~9
- ロータリー青少年交換 長期派遣学生募集要項 P10
- 地区関係資金 収支予算書 P11
- 月別 公式訪問予定表 P12
- 主要日程表 P13
- ガバナー補佐紹介 P14
- 会長・幹事さんへのお願い/文庫通信/奥付 P15
- 地区大会 予告広告 P16





地区の皆様へ 奉仕活動を見直そう 「新しい奉仕活動への挑戦」



2013-2014年度
国際ロータリー第2710地区ガバナー

沖田 哲義 (おきた てつよし)

さあ皆様、いよいよ新しいロータリー年度の始まりです。既に、各会長さん等クラブ指導者の皆様には、PETS & 地区チーム研修セミナーや地区協議会（以下、「PETS」等といいます。）に参加をされるなどして、十分な準備をされていると思いますし、また、各クラブの会員の皆様には、上記指導者の皆様から十分なお説明を受けておられると思いますが、改めて、2013-14年度のRI会長テーマ、同強調事項及び私のガバナー信条をお示し、皆様と共に、もう一度これらを確認したいと思います。

第1 ロンD・バートン RI 会長（以下、「ロンさん」といいます。）の掲げた RI テーマ（以下、「本 RI テーマ」といいます。）

原文英語

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

公式日本語訳

ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を

私の追加訳文

「ロータリーを自分の中に取り込んで、皆さん（当該ロータリアン自身）の人生（生き方）を変えなさい。」

既に PETS 等でも申し上げましたが、サンディエゴの国際協議会で、本 RI テーマが発表された際、このテーマは、RI の第 2 標語（アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した「He Profits Most Who Serves Best」という「奉仕の実践理論」）と同じだと思いました。そこで、いつか機会があれば、ロンさんに、これを確認できればいいなと思っていました。ところが、その機会が思いも寄らずに訪れたのです。それが、5月17日と18日にかけて行われた「広島平和フォーラム」でした。このフォーラムで、私達夫婦は、ロンさん夫妻のエイドを命じられたのです。そして、このエイドを行う中で、私は、これを確認できたのです。その状況は、以下のとおりです。

フォーラムの前日の5月16日午後0時30分から、広島リーガロイヤルホテルで、広島安佐 RC の例会が開催されました。これには田中作次 RI 会長（当時）夫妻、ロンさん夫妻、及びその他多数の RI 理事等が出席されました。そして、私達夫婦はロンさん夫妻のエイドとして、同人らの隣に座ったのです。

この例会では、「ROTARY」の歌が合唱されました。このため、この英語の歌詞を記載した布製の垂れ幕が、例会場の正面に掲げられていました。そして、この歌詞には、当然のことながら「He Profits Most Who Serves The Best」という文章が記載されていたのです。これを見た私は、「何とラッキーなことだ。正に千載一遇のチャンスではないか。これを逃さない手はない。」と思い、絶対にこの場でロンさんに確認しなければならないと決断しました。

そこで、例会終了直後に、思い切ってロンさんをこの垂れ幕の前に誘い、このシェルドンの標語を指して、次のように問いました。

「あなたの RI テーマについてお聞きしたいんです。

あなたのテーマの『Engage Rotary』と、この『Serve The Best』は同じ（イクオール）ではないですか。

また、『Change Lives』と、この『Profit Most』は同じ（イクオール）

ではないですか。」

すると、ロンさんは、

「そのとおりだ (That's Right)。」

と答えられたのです。

そして、私達は、お互いに右手の親指を立てて、ニヤリと笑いました。

その瞬間、私は、私が PETS の際行った基調講演の中身の一つである「奉仕の理想と6つの重点分野の関連性についての一考察」や、地区協議会でも行った「RI テーマの説明」が正しかったと確信するとともに安堵しました。

そして、上記の「確認」状況については、直ちに、同期のガバナー全員に対し、Eメール（同期のガバナー間には、メール・リンクで繋がれています。）でお知らせしました。すると、以下のようなメールが返ってきました。

「沖田さん、ありがとう!!

すばらしい『成果』です。歴史的瞬間 (Moment) といってもよいかも知れません。

シェルドンの標語を『職業奉仕』にだけ結びつけ、逆に第1標語「超私の奉仕」を人道的奉仕活動を示す言葉だとして軽視? する、特殊日本的議論を見直す貴重なエピソードですね。これから、大いに引用させていただきます。感謝!!」

ところで、ロータリアン必携・1987年改訂版・第1巻には、「奉仕に投資するロータリアンは、自らの生活をも豊かにする。」という文章が記載されています。この奉仕に投資するとは、ロータリーを実践しということですし、更には、人々の生活は勿論のこと、自らの生活をも豊かにするといっているのですから、ロンバートンさんの RI テーマと全く同じだといえるのではないのでしょうか。むしろ、時系列からしますと、ロンさんが、この言葉を自分なりに取り込んで、表現を変えたといえるのではないのでしょうか。

また、田中作次前 RI 会長は、第1標語の Service Above Self（超私の奉仕）を強調されました。一方、本年度 RI 会長のロンさんは、前記のように、第2標語の He Profits Most Who Serves Best を採用しています。これはいかにも対照的で大変面白いことだと思います。また、そうしますと、次年度 RI 会長の黄其光さんには、この2つをミックスし、「Serve Best Above Self and Profit Most」と提唱して頂きたいと思います。そうなりますと、私個人としては非常に満足なのですが。

第2 RI 会長の強調事項（会長賞）

- 1 会員増強の推進
- 2 ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実
- 3 ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化

第3 ガバナー信条及び運営の重点方針と目標

1 ガバナー信条

次に、私の掲げたガバナー信条（以下、「ガバナー信条」といいます。）と RI テーマとの関係を整理しておく必要があります。私は、ガバナー信条として、以下のものを掲げました。

奉仕活動を見直そう。

「新しい奉仕活動への挑戦」

このガバナー信条は、本年度がロータリー財団の未来の夢計画の実施年度に当たることを理由としています。既に何度も申し上げていますが、この夢計画の運用如何によっては、RI の奉仕活動自体が、将来的には革命的に変化する可能性があります。そこで私は、従前の奉仕活動を見直し、RI の奉仕活動と R 財団の補助金活動を一体的（即ち、両者は切っても切り離せないこと）に捉えたる必要があると思い、このように掲げたのです。



2 運営の重点方針

次に、運営の重点方針です。

- (1) RIの奉仕活動とR財団の補助金活動の一元化です。以下、両活動を総称して「ロータリー活動」といいます。この一元化の必要性については、ロータリー財団に対するアレルギーを取り除き、未来の夢計画を確実に遂行するためのものです。

ア 意識面と組織面

イ 従前のロータリー活動の分析と評価

ウ 望ましいロータリー活動の研究と提言

なお、イとウは、地区大会で発表する予定にしています。このため、地区の奉仕プロジェクト委員会の委員の皆様にはご苦労をかけますが、各クラブの皆様も、これに十分なご協力頂きたいと思います。

- (2)未来の夢計画の確実な実行

- (3)会員増強（併せて「SAKUJI 作戦」の遂行）

サクジ作戦とは、サクセス・ジャパンという正式名称の略称です。田中作次前 RI 会長の名前をもじったものです。簡単にいいますと、地区の内外を問わず、ロータリアン一人が、入会させたい一人を紹介するというものです。

- (4)各クラブ及び地区の情報のデータベース化の研究とソーシャルメディアの活用

ソーシャルメディアとは、双方向のメディアであり、新聞テレビ等の一方方向のメディアを「マスメディア」と呼んでいます。

- (5)地区大会を具体的なロータリー活動の研究発表の場とすること

- (6)職業奉仕の研究の深化と啓蒙活動

3 目標

次に、具体的な目標です。

- (1)会員増強（純増1名）

- (2)SAKUJI 作戦の遂行

- (3)RI 会長賞への挑戦

3つのカテゴリー（前記強調事項）

- (4)ロータリー財団支援

ア ポリオ・プラスへの支援 5ドル/人 以上

R 財団セミナーでは、30ドルという要請が出ましたが、これは到底無理なので、5ドル以上とさせていただきます。

イ 年次基金寄付 150ドル/人 以上

本年は120ドルでしたが、来年は30ドルアップしました。

ウ 恒久基金寄付 ベネファクター1人以上

エ ロータリーカードの協力 各クラブ担当者の決定

- (5)米山記念奨学会支援

16,000円（普通寄付と特別寄付を合わせて。但し、普通寄付のみを希望）/人 以上

- (6)RI 人頭分担金 53ドル/人

- (7)地区関係負担金 25,000円/人

本年は24,500円でしたが、来年は地区大会に大懇親会を復活させますので、500円のアップをお願いします。

- (8)RI 広報補助金の活用

第4 地区内主要行事

次に、地区内主要行事です。

- (1)地区指導者育成セミナー 2013年8月25日（日）

…ホテルグランヴィア広島

- (2)地区大会

ア 10月5日（土）本会議第1日 会長幹事会議

…下関市民会館

イ 10月6日（日）本会議第2日 本会議

…海峡メッセ

ウ 10月7日（月）記念ゴルフ大会

…下関ゴルフ倶楽部

従前は金曜日にゴルフ大会を行っていましたが、そうしますと、日曜日の本会議を欠席される方が結構いましたので、月曜日にさせて頂きました。日曜日の晩は、下関でゆっくりとお飲み頂きた

いと思います。

- (3)RYLA ホスト:下関東 RC 2013年11月23日（土）～24日（日）

…海峡ビューしものせき

第5 海外関連主要行事

最後に、海外関連主要行事です。

- (1)RI 第3690地区大会（姉妹地区）

2014年4月又は5月

- (2)RI 国際大会

2014年6月1日（日）～6月4日（水）

於：オーストラリア シドニー

前記のとおり、本年度はロータリー財団の未来の夢計画の実施年度に当たります。そこで、私は、前記のようなガバナー信条を掲げ、これに基づく地区運営の重点方針を立てるとともに、地区補助金（DG）については、その上限であるDDF（地区財団活動資金）の50%を全部消化したいと早くから宣言しました。しかし、残念ながら結果は20%未満（約16.64%）に止まりました。この原因はいろいろと考えられますが、この点について、既に私は、「財団夢計画初年度の反省（新地区補助金に関して）」と題するレポートを書き上げ、これを皆様に差し上げています。したがって、十分にご理解を頂いていると思います。

しかし、私達は止まることが許されません。そこで、本年度のクラブ指導者におかれましては、この点の反省も踏まえ、次年度及び次々年度のクラブ指導者と十分に協議され、次年度以降の地区補助金及びグローバル補助金の申請内容やこれに対応した所属クラブの組織作り等を、再度検討して頂きたいと思います。同時に、国際ロータリーの奉仕活動を更に充実され、ロータリー財団の補助金活動との整合性を更に一層お図り頂きたいと思います。

本年度は、ロータリー活動の新たなスタートの年です。したがって、ある程度の混乱はやむを得ないと思います。しかし、この混乱を恐れずに、一人一人が勇気を持ってこれを乗り越え、新しいロータリー活動の歴史に第一歩を刻み、「Change Lives」and「Profit Most」を実現しようではありませんか。

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 沖田哲義 略歴

生 年 月 日 1948年12月5日

所 属 ク ラ ブ 下関ロータリークラブ

職 業 分 類 弁護士

学 歴 早稲田大学 第一法学部 卒業

職 歴 弁護士沖田哲義法律事務所 所長
弁護士・海事補佐人

主 公 職 (元)社団法人下関青年会議所理事長
(元)下関21世紀協会(現財団法人)理事長
(現)学校法人河野学園理事
(現)学校法人下関学園理事
(現)財団法人中部財団理事
(現)社会福祉法人中部少年学院理事

ロータリー歴 1989年3月6日 下関ロータリークラブ入会
2000-2001年度 幹事
2004-2005年度 会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者(1回)



2013-2014年度テーマ

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014年度

国際ロータリー会長 **ロン D. バートン** (米国 オクラホマ州 ノーマン RC)

今日のロータリー・クラブの例会風景は、一見して、50年前の例会とは大分様子が違ってしています。また、34,000あるクラブすべてを訪れれば、さまざまな経歴を持つ人々が、世界のありとあらゆる言語を話し、地元レベルから国際レベルまで、実に多様な奉仕プロジェクトを行っている姿を目にしましょう。週末に近所の公園にある遊具を修理しているクラブや、ほかのクラブと協力して何千キロも離れた学校の衛生設備を整えているクラブなど、大小さまざまな方法で、この世界をより良くするためにロータリアンは活動しています。

今日、ロータリーで目にする多くの多くは、昔とは違います。しかし、ロータリーの土台は変わっていません。私たちの土台は、これまでと同じように、ロータリーの中核的価値観、すなわち、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです。これらの価値観こそが、ロータリアンとして私たちを定義づけるものです。私たちは、これらの価値観に従って生き、地域社会にこれらの価値観を広めようと努力しています。

私たちは、推薦され、その推薦を受諾することを選択してロータリーに入会しました。そして、入会した後も、日々、選択を行っています。それは、ロータリー・クラブの単なる一会員でいるか、真のロータリアンとなるか、の選択です。

ロータリアンであるということは、週に1度例会に出席するよりも、ずっと大きな責任です。それは、独特な方法で、世界を見ること、そして、その世界における自分の役割を見ることです。地域社会の問題を自分自身の責任として受け止め、それに基づいて行動し、イニシアチブを発揮し、最善の努力をすること、簡単な道ではなく、正しい道を歩むことを意味します。

私たちは皆、世界をより良くする活動に自ら参加するために、ロータリーに入会しました。人生におけるあらゆる物事と同じように、ロータリーの奉仕では、努力すればするほど、多くを得ることができます。形だけの努力だけなら、大した成果は上がりませんし、本当の満足感を得られないでしょう。しかし、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるかが見えてくるでしょう。そうして初めて、人々の人生を真に豊かにしようというインスピレーション、やる気、パワーが沸くのです。そして何よりも、あなた自身の人生が一番豊かになるはずで

2013-14年度のロータリーのテーマ、そして私から皆さんへのチャレンジは、「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」です。

皆さんは、ロータリーの襟ピンを身につけることを選択しました。これからどうするかは、皆さん次第です。

2013-2014年度 国際ロータリー会長

ロン D. バートン氏 略歴

1998-2000 年度	国際ロータリー理事
2006-2010 年度	ロータリー財団管理委員
2008-2009 年度	ロータリー財団管理委員会副委員長
2013-2014 年度	国際ロータリー会長

ロン D. バートン氏は、2007年、オクラホマ大学財団会長の職を最後に引退しました。米国連邦最高裁判所弁護士協会、オクラホマ州弁護士協会、クリーブランド郡弁護士協会の会員、米国弁護士会の会員として、非課税法人委員会、米国弁護士会慈善組織のための不動産・遺言検認・信託委員会の委員も務める同氏は、米国ボーイスカウトのラスト・フロンティア・カウンスルの副会長を務め、シルバー・ビーバー賞を受賞しています。また、ノーマン・ユナイテッド・ウェイのジュニアリーグ・ボランティア最優秀市民賞も受賞しています。

1979年以降のロータリアンであるバートン氏は、米国オクラホマ州ノーマン・ロータリー・クラブの元会長で、現会員です。これまでに、地区ガバナー、規定審議会代表議員(1992年および1995年)、国際協議会グループ討論リーダーとモデレーター、ゾーン研修リーダー、ロータリー情報カウンセラー、委員会やタスクフォース・メンバー、RI会長代理、RI会長のエイド、2011年ニューオーリンズ国際大会委員長を歴任しました。また、理事会では、執行委員会、運営委員会、監査委員会の委員も務めました。

さらに、ロータリー財団開発委員会のコンサルタント、恒久基金米国アドバイザー、ロータリー財団地域コーディネーター、インターナショナル・ポリオ・プラス委員会委員、恒久基金リーダーシップチームのメンバー、ポリオ・プラス広報部メンバー、ロータリー財団地域コーディネーター研修プログラムのモデレーターを務めた経験もあります。2006-10年度はロータリー財団管理委員、2008-09年度は財団管理委員会副委員長、また、未来の夢委員会委員および副委員長も務めています。

そして、2013-14年度、バートン氏は国際ロータリー会長に就任します。

RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、ロータリー財団特別功労賞、ポリオのない世界を目指す奉仕賞の受賞者でもあるバートン氏は、ジェタ夫人と共に、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、大口寄付者、ポール・ハリス・ソサエティ、遺贈友の会、アーチ C. クランフ・ソサエティの会員でもあります。



「地区研修リーダーを務めさせていただきます。」

2013-2014年度

国際ロータリー第2710地区 研修リーダー 岡田 幹矢

大之木ガバナー年度最大のイベント世界平和フォーラムが大成功裡に終り、「いよいよ沖田ガバナーの出番が来る!」と、地区研修リーダーを拝命した者として伴走者のような緊張感の中にあります。

さて、御^{さら}浚いの意味で、研修リーダーの使命を確認しますと、実際に研修リーダーが研修を行う訳ではありません。地区研修リーダーはガバナーや地区指導者がロータリアンに継続的に教育を実施するのを支援したり、ガバナーやエレクトが召集する地区研修行事を地区チームと協力しなければなりません。

また各会合が召集者(ガバナー及びエレクト)の下にあることを明確に理解していることが要求されています。

つまり地区研修リーダーはガバナーの協力、助言、支援者の立場にあります。

2013-14 年度沖田ガバナーのこれまでのガバナーと決定的に違う点は、つぎの様なことが指摘出来ると思います。

先ず、沖田ガバナーは、国際協議会に旅立たれる5ヶ月も前に、ガバナー信条奉仕活動を見直そう(新しい奉仕活動への挑戦)を発表されたことです。

次に、沖田ガバナーは永年のロータリー研究の労作「ロータリーとは」を作成され、その後再三に亘って加筆、訂正され実に100頁余の大作となったこと、しかも地区委員全員にその都度それを配布されました。「ロータリーとは」は将来、地区が誇るツールとして、地区内外の諸賢からの叱正、もしくは補正で磨きをかけられ、所謂「ロータリー教本」として定着すると思

われます。

更に沖田ガバナーが次年度最も熱を入れている点は、本年がR財団の夢計画の実施年度に当ることから、地区として新地区補助金を各クラブに使用、奨励するため、特別委員会の設置と地区委員会構成の見直し等、懇切丁寧な提案指導を行っている点です。

いずれもR財団から地区への裁量権が拡大して与えられた時点で、当然、想定すべき基準、提案であり、別段驚いてはならぬ筈ですが、補助金管理についての不勉強、クラブの大小、年令構成、クラブの財政、諸事情等でクラブ内の特別委員会設置に関して予想外に抵抗感が強い現況にあります。

特に委員会構成について、「職業奉仕委員会」の扱いについては理屈を超えた。

伝統的「職業奉仕」信奉者から、神学論的異論が出ています。従って、特別委員会の設置等はあくまで、ガバナーの推奨案(リコメンド)とすべきだと考えます。

ロータリーの自治権はあくまでクラブにあるからです。

本年度は沖田ガバナーという極めて有能、異能なリーダーの下で、地区研修委員長を務めさせて頂くことを、大変光栄に存じています。

沖田ガバナー年度は、例年と違う「格別の年度」になりそうな予感がします。

皆様と一緒に楽しい年度になるよう盛り上げて参りましょう。

皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2013-2014年度 今後の研修予定

■ 8月25日(日) 地区事務局指導者育成セミナー
(会員増強/ロータリー財団 合同)

■ 9月7日(土) 第5期 RLI-2710 パートⅢ & 卒後プログラム



「新年度への期待」

2013-2014年度
国際ロータリー第2710地区 パストガバナー **大之木 精二**

「年々歳々花相似たり 歳々年々人同じからず」
年が改たまり当地区の運営は、沖田ガバナーにその全権が託されます。清新の気溢れる少壮ガバナーの満を持しての登場は、当地区に如何なる変革をもたらすか、どの様な彩りを加えるかの期待を、彌が上にも高めるものがあります。沖田ガバナーの学識豊かな識見と緻密なロータリー情報に裏付けされた敏腕を知るだけに、これから展開される縦横の活躍に就き、全幅の信頼をもって協力することにいささかの躊躇ありません。

新ガバナーはガバナー信条として、「奉仕活動を見直そう。新しい奉仕への挑戦」を掲げて、ロータリー財団「未来の夢計画」の実施年度への対応姿勢を明示されています。対外的な奉仕活動を財団の補助金

システムと一体化させ、より大きな効果を目指すべく新たな視点を求める発想は、「ロータリーとは何か」ではなく、「ロータリーは何をしているか」に軸足を置いた対応を促し、それこそがロータリーの公共イメージと認知度向上に繋がるものと考えます。

ロータリーの奉仕活動は、地域社会の人々の生活の質改善を導き、彼等をして主体的に平和で思い遣りに満ちた共同社会の建設に取り組ませるのが本来ですが、併せて未だ低迷するロータリーの認知度向上に一石を投ずる効果も見逃せません。

沖田ガバナーの卓越したリーダーシップが如何なく発揮され、2013～14年がわが第2710地区にとって画期的な一年になることを祈念し、激励の言葉といたします。



ご挨拶

2013-2014年度
国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 **小倉 國雄**

この度、地区代表幹事を仰せつかりました小倉でございます。何卒宜しく願いを申し上げます。

任期は2013年7月1日より2014年6月30日となっておりますが、実質的には、沖田ガバナーが「ロータリーとは」なる大作を発信し始めた、昨年6月28日が代表幹事としての勉強の始まりでした。ロータリー歴は20年近くと長いのですが、ロータリーは親睦なりをモットーにしてきましたので、深くロータリーを考えた事のない私は、先ずロータリー用語辞書を手作りし、それを見ながらのスタートとなりました。

しかしながら、読まれた方はお分かりになると思いますが、この大作大変に分かりやすく纏められています。お陰様でロータリーの何たるかが少しは分かっ

てまいりました。

2013年3月3日のPETS、3月20日の地区協議会で本年度の運営重点方針と目標が掲げられました。その基にある沖田ガバナー今年度の地区信条、奉仕活動を見直そう「新しい奉仕活動への挑戦」本年度の地区活動でこの信条を形にするために、時には沖田ガバナーの手綱となり、時にはつかえ棒となり、目立たぬように地区会員皆様のお世話ができますように頑張りたいと思っています。

沖田ガバナーは決して難しい男ではございません。是非この一年間、皆様方のご協力を宜しく願い申し上げます。



大之木精二直前ガバナーと 地区役員・委員の皆様への御礼

2013-2014年度

国際ロータリー第2710地区 ガバナー 沖田 哲義

大之木精二直前ガバナー、1年間本当にお疲れ様でした。というよりも、「3年間」お疲れ様でしたというのが正しいのかも知れません。私も今実感しているのですが、ノミニー時代、そしてエレクト時代と、大変な準備を積み重ねて、ようやくガバナー年度が始まったという気がします。この際、敢えて誤解を恐れずにいいますと、「始まる前に終わった」のではないかと、いう気さえするのです。要するに、始まったら、只ひたすらに、自分で敷いたレールの上を突っ走るだけ、という感じがしてならないのです。特に私の年度は、R財団の夢計画の実施年度ですから、少なくとも、新地区補助金に関する事業については、計画年度で実質的に終了しているともいえるのではないのでしょうか。しかし、このように、私が十分に準備できたのも、大之木直前ガバナーの十分なお理解と暖かいご支援があったからこそです。この点、大変感謝しています。

通常ですと、ガバナーエレクトは、あくまでも「次年度ガバナー」に過ぎないのでから、「現ガバナー」に遠慮して、表だった準備が出来にくいものです。しかし、大之木直前ガバナーには、ガバナーエレクトの私に対し、「私（大之木直前ガバナー）に遠慮することはありませんから、大いにやってください。特に、あなたの年度は、夢計画の実施年度ですから。」とって頂きました。その後も、同様なお言葉を何度も頂きましたし、時によっては、細かい点までアドバイスを頂きました。これは、本当に助かりました。お陰で十分な準備ができたのです。

さて、大之木直前ガバナーの大きな功績についてですが、まず第1に「もっとロータリーを！心と行動に」というガバナー信条を掲げられ、ロータリアンの研修に力を入れられ成果を上げられたことです。特に、地区内74クラブを3つのグループに分け、合同の研修を行われたことは、大変な成果だったと思います。私は、この成果と精神を引き継ぎ、今度は、「職業奉仕の勉強」を中心にしたクラブ内研修に特に力を注ぎたいと思っています。また、この研修では、ロータリーにとって「望ましい対外的な活動の具体例」についても研修

を行っていききたいと思います。このように2本立ての研修を考えていますが、これも大之木直前ガバナーが、前年度に「ロータリアンに対する研修」の重要性を強調され実行されたお陰です。

第2の功績は、ロータリアンの費用負担の軽減という点を強調されたことです。このために、地区大会のゴルフや2日目の懇親会を全てお止めになりました。これは大変なお決断だったと思います。私も当初はこれに倣うつもりでした。しかし、根が「大酒飲み」であり「遊び好き」なものですから、誘惑に勝てず、結局両方とも復活させてしまいました。この点は、大之木直前ガバナーに深くお詫びしたいと思います。それでも、この「費用負担の軽減」という精神そのものについては、十分に引き継ぎたいと思っていますし、また当然にそうすべきだと思っています。

第3の功績は、口頭のご挨拶（演説を含めて）やご挨拶文で、その素晴らしさと巧みさを十分に発揮されたことです。これらは、永久保存版として地区内で保存し、後の「ガバナーノミニーの研修用」として利用すべきです。関係者に対する細やかなお心配り、先哲の文章の引用の仕方、ご自分の意見をスマートに強調される遣り方等、どれを取っても超一流です。これは、到底私のような浅学の若造には真似が出来ません。しかし、今は少しでも近づきたいと思っています。

それにしましても、大之木ガバナー年度は、本当に素晴らしく輝いた1年だったと思います。また、松田修典地区代表幹事を始めとする地区役員・委員の皆様の一致団結したお働きも、本当に素晴らしかったと思いますし、その時々頂いた細やかで暖かいご指導に対しましては、衷心より御礼申し上げます。私達も皆様のこのようなお働きを大いに参考にさせて頂き、また、ご指導賜ったことをしっかりと心に刻んで、更になんがりたいと思います。本当にありがとうございます。

今後とも、宜しくご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。



R I 会長	
ロン・パートン	ノーマン

ガ	バ
沖	田

ガバナー指名委員会		
委員長	諏訪	昭登
委員	岡田	幹矢
委員	前田	茂
委員	田村	泰三
委員	大之木	精二

ガバナーエレクト	
金子	克也

次期研修リーダー	

地区研修リーダー	
岡田	幹矢

地区研修委員会	
地区幹事	

地区諮問委員会			
PG	元RI理事	松本 卓臣	福山
PG		白木 邦彦	長門
PG		真鍋 欣良	呉
PG		林 孝介	下関東
PG		筒井 敷三	広島東
PG		天野 肇	福山
PG	元RI理事	南園 義一	防府
PG		仁田 一也	広島東南
PG		土肥 浩右	西条
PG		西村 栄時	岩国西
PG		川妻 二郎	広島南
PG		新田 薫	山口南
PG		松本茂太郎	福山
PG		永富 稔	下関東
PG		岩森 茂	広島北
PG		金子 信	萩
PG		諏訪 昭登	広島西
PG		岡田 幹矢	周南西
PG		前田 茂	三次
PG		田村 泰三	柳井
PG		大之木精二	呉
GE		金子 克也	福山南
GN		東 良輝	宇部西

地区拡大委員会	
委員長	前田 茂
委員	田村 泰三
委員	大之木精二

国際大会推進委員会	
委員長	前田 茂

地区表彰 選考委員会	
委員長	前田 茂
委員	田村 泰三
委員	大之木精二
委員	金子 克也

長期計画委員会	
カウンセラー	南園 義一
アドバイザー	天野 肇
委員長	西村 栄時
副委員長	松本茂太郎
委員	岩森 茂
委員	金子 信
委員	諏訪 昭登
委員	岡田 幹矢
委員	前田 茂
委員	田村 泰三
委員	大之木精二
委員	沖田 哲義
委員	金子 克也
委員	東 良輝

P E T S	
地区チーム研修セミナー	
地区協議会	
地区指導者育成セミナー	
R L I	

ガバナー補佐		
G1	紺箭 素彦	下関北
G2	脇 和也	宇部
G3	入交 知則	山口南
G4	平村 紀夫	周南西
G5	金井 哲明	柳井
G6	小城 林勲	大竹
G7	井内 康輝	広島南
G8	蔵田 憲	東広島
G9	元廣 清志	尾道東
G10	原田 隆史	鞆の浦
G11	高橋 敏行	松永
G12	豊浦 順海	庄原
74RC		
I M		

広報委員会			
カウンセラー	田村 泰三		
(全般)	小松靖之介 ②下関東		
	高垣 邦雄 ①福山南		
	坂田 健治 ③ 呉		

クラブ管理運営委員会			
カウンセラー	大之木精二		
(全般)	吉村 彦士 ②長門		
	浅利 清 ①福山南		
	志々田孝治 ③ 呉		

会員開発委員会			
カウンセラー	天野 肇		
(全般)	和田銀一朗 ②油谷湾		
	菅本 栄介 ①福山南		
	松浦 秀夫 ③ 呉		

奉仕プロジェクト委員会			
(全般)	カウンセラー 南園 義一		
(全般)	堀川 国彦 ②下関北		
	藤岡 一郎 ①福山南		
	島村 充 ③ 呉		

広報 [IT] 部会	
福田 維徳 ②下関西	
森 晃一 ①福山南	
大島 淳稔 ③ 呉	

雑誌 [ロータリーの友] 部会	
喜志永佳和 ②下関中央	
田頭 和規 ①福山南	
田中 利幸 ③ 呉	

職業奉仕部会	
弘永 裕紀 ②下関	
高橋 敦 ①福山南	
大塩 俊 ③ 呉	

ロータリー情報・研修・増強部会	
室中 俊郎 ②下関西	
木村 治雄 ①福山南	
住田 佳樹 ③ 呉	

社会奉仕部会 (RCC 等)	
山本 修司 ②下関	
廣安 尚典 ①福山南	
青山 宏明 ③ 呉	

国際奉仕部会	
畑 敏治 ②下関中央	
藤田 恒久 ①福山東	
福田多喜二 ③ 呉	

新世代奉仕部会 (RYLA)	
木下 稔 ②下関東	
後藤 昇三 ①福山南	
上田 功 ③ 呉	

国際ロータリー第2710地区 2013-2014年度 組織図

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ナ	一
哲	義

R I 理事			
松宮 剛	茅ヶ崎湘南	北 清治	浦和東

地区財務委員会	
カウンセラー	諏訪 昭登
	古田 圭一 ②下関
	小川 弘洋 ①福山南
	大上 功 ③呉

地区会計監査	
カウンセラー	新田 薫

地区会計	
会計長	古田 圭一

危機管理委員会	
カウンセラー	前田 茂
委員長	大之木精二
委員	金子 克也
委員	東 良輝
委員	危機管理規定による

月信編集委員会	
編集委員長	増井 聡彦
副編集委員長	松浦 司
編集委員	要田二三子
編集委員	濱崎 進
編集委員	斎藤 英樹
編集委員	柳田 宏治
編集委員	村上 幸男

地区幹事	
代表幹事	小倉 國雄 下 関
副代表幹事	藤井 康郎 下 関
副代表幹事	大和平八郎 下 関
副代表幹事	吉村 和夫 長 門
副代表幹事	福田 美治 油谷湾
副代表幹事	倉田 修三 下関東
副代表幹事	増井 聡彦 下関西
副代表幹事	嶋村 健児 下関北
副代表幹事	廣田千知郎 下関中央
地区会計長	古田 圭一 下 関
地区幹事	吉村 彦士 長 門
地区幹事	小松靖之介 下関東
地区幹事	福田 維徳 下関西
地区幹事	喜志永佳和 下関中央
地区幹事	和田銀一朗 油谷湾
地区幹事	室中 俊郎 下関西
地区幹事	堀川 国彦 下関北
地区幹事	弘永 裕紀 下 関
地区幹事	山本 修司 下 関
地区幹事	木下 稔 下関東
地区幹事	松井 繁之 下関北
地区幹事	岡田 健 下関東
地区幹事	上野 宗則 下関東
地区幹事	畑 敏治 下関中央
地区幹事	伊賀 訓之 徳山東
地区幹事	三宅 浩史 下関中央
地区幹事	井上 正明 下関西

地区事務局運営委員会	
アドバイザー	金子 信
委員長	川妻 二郎
委員	田村 泰三
委員	大之木精二
委員	沖田 哲義
委員	金子 克也
委員	東 良輝
委員	事務局運営規定による

地区大会実行委員会	
大会実行委員長	木下 毅
大会副実行委員長	菊谷 茂吉
大会幹事	古賀 郁彦
大会副幹事	竹中 恒彦
大会副幹事	神在 邦幸
大会副幹事	沼 定明
大会副幹事	宮崎 隆
大会副幹事	藤井 康郎
大会副幹事	倉田 修三
ホストクラブ	下関 RC
コホストクラブ	長門 RC 下関中央 RC
	下関東 RC 下関北 RC
	下関西 RC 油谷湾 RC
地区大会	

東日本復興支援委員会	
アドバイザー	田村 泰三
委員長	小倉 國雄 下 関
	大和平八郎 下 関
	山本 修司 下 関
	近本 肥子 福山南
	島村 充 呉
	松田 修典 呉
	田村 邦夫 柳井西

地区事務局	
事務局長	大和平八郎
事務局員	岡崎 由美
事務局員	布施美佐子
事務局員	世良 恵

米山学友会	
会 長	島崎 高志 東広島

ロータリー財団学友会	
会 長	石神 輝雄

青少年交換学友会	
会 長	佐藤 貴俊

(社会奉仕・国際奉仕)	カウンセラー	金子 信
(新世代奉仕)	カウンセラー	前田 茂

ロータリー財団委員会	
カウンセラー	川妻 二郎
アドバイザー	松本茂太郎
委員長	伊賀 訓之 徳山東
ポリオプラス小委員長	榎 賢志 東広島
補助金小委員長	八百谷俊昭 岩国西
資金推進小委員長	東 日出夫 光
資金管理小委員長	小田 大治 三 次
	川本 晏聖 福山東
	倉田 修三 下関東
	三宅 浩史 下関中央
	松井 敏 広 島
	奥先憲太郎 呉 南

米山記念奨学会委員会	
カウンセラー	仁田 一也
(全般)	井上 正明 ②下関西
	仲達 吉晴 ①福山南
	稲葉 周三 ③呉

RA (ローターアクト)	
	松井 繁之 ②下関北
	竹内 太南 ①福 山
	海生 知亮 ③ 呉

IA (インターアクト)	
	岡田 健 ②下関東
	藤井 好夫 ①福山北
	平本 禎輝 ③呉 南

青少年交換	
	上野 宗則 ②下関東
	梶原 正己 ①福山南
	山村 貞夫 ③ 呉

地区ロータリー財団監査委員会	
委員長	前田 茂 三 次
	久笠 信雄 広島城南
	大上 功 呉



国際ロータリー第2710地区 2014-2015 年度

ロータリー青少年交換 長期派遣学生募集要項

高校生の国際的な交換留学を通して、文化交流による世界理解を深めるプログラムです。
心身ともに健全でロータリーの国際親善大使としてふさわしい高校生多数の応募を願っています。

1. 留学先	アメリカ・フランス・カナダ・スウェーデン その他(希望を考慮します)
2. 派遣期間	2014 年 8 月から 1 年間
3. 募集人数	4 ～ 5 名
4. 派遣先での生活	受入れロータリークラブの会員家族並びに受入れロータリークラブにより選ばれた家族が滞在期間中のホストファミリーになります。原則として、3 ヶ月ごと 4 家族でそれぞれの家族の一員として生活をともにし、高校に通学します。
5. 派遣期間の費用負担	本人の往復航空正規運賃及び渡航手続き、各種保険料、出発前研修費用等の諸費用及び若干の所持品は自己負担ですが、海外における滞在費と学費は受入側が負担します。こちらに受入れた学生の費用は日本のロータリーの負担です。
6. 応募資格と条件	以下の資格及び条件を満たしていることが必要です。 a) 国際ロータリー第 2710 地区(広島県・山口県)内に居住またはその地区の高校に在学(又は在学予定)し、1996 年 4 月 2 日～1999 年 4 月 1 日に生まれた心身ともに健康な男女。 b) 保護者の承認があり、且つ通学する学校長及び区域のロータリークラブ会長の推薦が得られる者(ロータリアンの子弟でも可)。 c) 学業の成績が一定水準以上の者で、海外生活に積極的に参加する意欲のある者。 d) 応募者の通学している高校は、来日交換学生の受入れ高校になることが望ましい。 e) 派遣国の希望には出来るだけ沿うように努力しますが、最終的にはこちらの決定に従って頂きます。
7. 申込方法	a) 同封の「国際ロータリー第 2710 地区ロータリークラブ一覧」をご参照の上、居住区域内のロータリークラブに応募したい旨ご連絡ください。 b) ロータリークラブより応募の許可を受けた後、必要書類(①青少年交換派遣申込書②高等学校長推薦状③その他ロータリークラブより要請のあった書類)を揃え、ロータリークラブへご提出ください。ご提出いただいた書類は、ロータリークラブを経由して国際ロータリー第 2710 地区事務局へ提出されます。 ※高等学校長推薦状には必ず校長先生ご本人様のご署名をいただかれますよう、お願い申し上げます。 ※控えとして申請書類のコピーをお取りください。
8. 応募締切	推薦ロータリークラブ経由で、2013 年 9 月 30 日(月) 必着で国際ロータリー第 2710 地区事務局へご提出ください。
9. 選考方法	試験内容は、書類選考、英語力テスト、面接(本人及び保護者)で 2013 年 10 月 27 日(日)を予定。
10. 合格発表	試験終了後 2 週間以内に推薦ロータリークラブ会長宛に通知します。
11. 研修会の開催	合格者は出発までに数回の研修会に参加する義務があります。
12. 注意事項	合格者は当地区より受入れ地区に推薦され、相手地区の受入れ保証を得てはじめて正式に地区交換学生として決定されます。また、交換学生の派遣ロータリークラブは同時に受入れ学生の受入れロータリークラブになる義務が生じます。



国際ロータリー第 2710 地区 2013-2014 年度 地区関係資金 収支予算書

《収入の部》

科 目	金 額
地区事務局運営関係費	28,160,000
研修関係費	8,320,000
各種委員会奉仕活動費	22,720,000
雑収入	0
RI補助金	2,000,000
ホストクラブ等補助金	0
小 計①	61,200,000
ガバナー会連絡会議負担金	640,000
ロータリー文庫運営協力金	960,000
地区大会分担金	19,200,000
小 計②	20,800,000
合 計 (①+②)	82,000,000

《支出の部》

科 目	金 額
地区事務局運営関係費	30,160,000
研修関係費	8,320,000
各種委員会奉仕活動費	22,720,000
小 計①	61,200,000
ガバナー会連絡会議負担金	640,000
ロータリー文庫運営協力金	960,000
地区大会分担金	19,200,000
小 計②	20,800,000
合 計 (①+②)	82,000,000

会員数:3,200人で試算

《地区関係負担金 明細表》

	年 間 (一人当り)	前 期	後 期
地区事務局運営関係費	8,800	4,400	4,400
研修関係費	2,600	1,300	1,300
各種委員会奉仕活動費	7,100	3,550	3,550
ガバナー会連絡会議負担金	200	100	100
ロータリー文庫運営協力金	300	150	150
地区大会分担金	6,000	6,000	0
合 計	25,000	15,500	9,500

会員数:3,200人で試算

《RI人頭分担金他 送金明細表》

区 分	年 間 一人当り	前 期 7月送金	後 期 1月送金	報 告 先	送 金 先
人頭分担金	53ドル	26.5ドル	26.5ドル	RI日本事務局 (正) 地区事務局 (写)	三井住友銀行 新宿通支店 (普)6733244 名義:国際ロータリー日本事務局 Tel:03-3903-3183
規定審議会分担金	1ドル	1ドル	-		
ザ・ロータリアン誌 購読料	24ドル	12ドル	12ドル		
ロータリー 米山記念奨学会	1,000円 以上	500円 以上	500円 以上	R 米山記念奨学会 (正) 地区事務局 (写)	三井住友銀行 京橋支店 (普)0920373 名義:公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 Tel:03-3434-8681
ロータリーの友 購読料	2,520円	1,260円	1,260円	ロータリーの友事務所 (正)	三井住友銀行 浜松町支店 (普)7450015 名義:一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel:03-3436-6651
ロータリー財団 への寄付				RI日本事務局 (正) 地区事務局 (写)	三井住友銀行 赤羽支店 (普)3978101 名義:公益財団法人ロータリー日本財団 Tel:03-3903-3192



国際ロータリー第 2710 地区 2013-2014 年度 月別 公式訪問予定表

7月	曜日	グループ	クラブ名
7/9	(火)	3	防府
7/16	(火)	9	三原
7/17	(水)	6	広島東
7/18	(木)	6	広島北
7/23	(火)	1	長門
7/25	(木)	7	広島西
7/29	(月)	10	福山・福山丸之内
7/30	(火)	11	福山赤坂
8月	曜日	グループ	クラブ名
8/1	(木)	2	萩
8/2	(金)	3	山口南
8/5	(月)	10	府中
8/6	(火)	4	周南西
8/7	(水)	12	東城
8/8	(木)	12	三次
8/20	(火)	5	柳井
8/21	(水)	1	下関西
8/22	(木)	8	呉
8/23	(金)	7	広島南
8/26	(月)	7	広島東南
8/27	(火)	10	鞆の浦
8/28	(水)	2	宇部東
8/29	(木)	8	西条
8/30	(金)	5	岩国西
9月	曜日	グループ	クラブ名
9/2	(月)	11	松永
9/3	(火)	6	広島
9/4	(水)	9	広島空港
9/5	(木)	1	下関東
9/9	(月)	12	三次中央
9/10	(火)	12	吉舎
9/12	(木)	9	竹原
9/17	(火)	8	呉南
9/18	(水)	8	呉東
9/19	(木)	6	広島安佐
9/20	(金)	7	広島城南
9/25	(水)	3	山口
9/26	(木)	2	宇部
9/27	(金)	1	下関中央
9/30	(月)	3	防府北

10月	曜日	グループ	クラブ名
10/1	(火)	2	宇部西
10/8	(火)	6	大竹
10/16	(水)	10	福山東
10/17	(木)	11	福山南
10/18	(金)	11	福山北
10/19	(土)	10	福山ロータリーEクラブ2710
10/21	(月)	7	広島廿日市
10/22	(火)	9	尾道東
10/23	(水)	4	徳山東
10/24	(木)	4	徳山
10/28	(月)	4	光・徳山セントラル
10/29	(火)	2	萩東・美祢
10/30	(水)	5	岩国中央
10/31	(木)	5	柳井西
11月	曜日	グループ	クラブ名
11/5	(火)	3	山口県央
11/6	(水)	2	小野田
11/7	(木)	9	因島
11/8	(金)	9	尾道
11/11	(月)	7	広島中央
11/12	(火)	8	東広島
11/13	(水)	9	瀬戸田
11/19	(火)	11	福山西
11/20	(水)	1	油谷湾
11/21	(木)	8	江田島
11/25	(月)	8	東広島21
11/26	(火)	7	広島西南
11/28	(木)	3	防府南
12月	曜日	グループ	クラブ名
12/5	(木)	5	岩国
12/9	(月)	1	下関
12/10	(火)	12	庄原
12/11	(水)	6	広島陵北
12/17	(火)	6	広島安芸
1月	曜日	グループ	クラブ名
1/14	(火)	1	下関北



国際ロータリー第 2710 地区 2013-2014 年度 主要日程表

2013年7月~12月

日程 曜日	開 催 行 事	場 所
7/1 (月)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
7/2 (火)	R 財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪
7/6 (土)	第1回 諮問委員会 沖田年度	ホテルグランヴィア広島
7/7 (日)	RA 第1回地区協議会(徳山)	
7/21 (日)	第1回青少年交換委員会、受入カウンセラー・ ホストファミリーオリエンテーション	ホテルグランヴィア広島
7/27 (土)	第37回IA 地区大会 1日目(誠英高校担当)	アスピラート(防府市地域交流センター)
7/28 (日)	第37回IA 地区大会 2日目(誠英高校担当)	ルルサス防府
8/25 (日)	地区指導者育成セミナー (会員増強／R 財団合同)沖田年度	ホテルグランヴィア広島
8/31 (土)	RA 七地区交流会	
9/7 (土)	第5期RLI-2710 パートⅢ& 卒後プログラム	ホテルグランヴィア広島 予定
9/8 (日)	第2回青少年交換委員会・ 受入学生、派遣学生オリエンテーション・歓迎懇親会	ホテルグランヴィア広島
9/28 (土)	福山南RC 50周年	
9/29 (日)	第1回ガバナー補佐会議 金子年度	ホテルグランヴィア広島
10/5 (土)	地区大会 第1日目 沖田年度	シーモールパレス・下関市民会館
10/5 (土)	第2回諮問委員会 沖田年度	シーモールパレス
10/5 (土)	日韓交流パーティ	シーモールパレス
10/6 (日)	地区大会 第2日目 沖田年度	海峡メッセ
10/7 (月)	地区大会 記念ゴルフ大会	下関ゴルフ倶楽部
10/12 (土)	RA 海外研修旅行 2泊3日	韓国
10/19 (土)	福山ロータリー E クラブ 2710RC 認証状伝達式	
10/27 (日)	第3回青少年交換委員会・派遣学生選考会	ホテルグランヴィア広島
11/16 (土)	RA 海外研修事後報告会	
11/17 (日)	RA 第2回地区協議会(福山)	
11/23(土・祝)	RYLA 1日目	海峡ビューしものせき
11/24 (日)	RYLA 2日目	海峡ビューしものせき
11/28 (木)	広島中央RC 35周年	
12/1 (日)	R 財団地域セミナー	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
12/2 (月)	第2回GETS 金子年度	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
12/2 (月)	メジャードナー午餐会	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
12/3 (火)	第42回ロータリー研究会 1日目	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
12/4 (水)	第42回ロータリー研究会 2日目	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
12/7 (土)	第4回ガバナー補佐会議 沖田年度	ホテルグランヴィア広島
12/14 (土)	第2回ガバナー補佐会議 金子年度	ホテルグランヴィア広島
12/21 (土)	第4回青少年交換委員会・ 第1回派遣学生オリエンテーション、クリスマス会	ホテルグランヴィア広島
12/23(月・祝)	第3回 諮問委員会 沖田年度	ホテルグランヴィア広島



国際ロータリー第 2710 地区 2013-2014 年度 ガバナー補佐紹介

①所属クラブ ②生年月日 ③職業分類 ④入会年月日 ⑤会長年度

G1 紺 素彦



- ①下関北
- ②1952/8/30
- ③銃砲火薬
- ④1993/7/6
- ⑤2008-09年度

G2 脇 和也



- ①宇部
- ②1952/12/9
- ③新聞発行
- ④1997/3/27
- ⑤2008-09年度

G3 入交 知則



- ①山口南
- ②1954/9/15
- ③電気水道
- ④1995/12/1
- ⑤2010-11年度

G4 平村 紀夫



- ①周南西
- ②1946/2/11
- ③配管工事
- ④1992/8/4
- ⑤2011-12年度

G5 金井 哲明



- ①柳井
- ②1948/12/18
- ③油脂販売
- ④1990/7/3
- ⑤2003-04年度

G6 小城 林勲



- ①大竹
- ②1944/10/8
- ③木材加工販売
- ④1991/5/21
- ⑤1999-00年度

G7 井内 康輝



- ①広島南
- ②1947/8/7
- ③医学研究
- ④1993/9/24
- ⑤2012-13年度

G8 蔵 田 憲



- ①東広島
- ②1946/7/11
- ③スーパーマーケット
- ④1987/5/16
- ⑤1996-97年度

G9 元 廣 清志



- ①尾道東
- ②1946/11/4
- ③建築設計
- ④1987/5/12
- ⑤2010-11年度

G10 原田 隆史



- ①鞆の浦
- ②1948/12/13
- ③食品加工
- ④1983/12/6
- ⑤1998-99年度
2009-10年度

G11 高橋 敏行



- ①松永
- ②1945/3/31
- ③機械製造販売
- ④1970/6/3
- ⑤1992-93年度

G12 豊浦 順海



- ①庄原
- ②1937/11/17
- ③仏教
- ④1993/6/18
- ⑤1999-00年度



会長・幹事さんへのお願い

■半期報告、人頭分担金

RI 事務局、RI 日本事務局及び米山記念奨学会、地区事務局への報告や送金は所定通り、確実、速やかにお進めください。

■各種報告書

年度を通じ、研修会登録やアンケート等の提出をお願いすることとなりますが、メ切は厳守をお願いいたします。

■会員増減・出席率報告

月末会員数及び出席率の報告は毎月26日～翌月14日まで(14日が休日の場合は随時変更あり)に、ホームページ上よりご報告ください。

■新会員報告

新会員報告は毎月26日～翌月10日の間に、ホームページ上よりご報告ください。

■計報届

《C》会員計報届(エクセルデータ)に入力し、写真データ(JPGデータ)を添えて、至急地区事務局へメールにてご連絡ください。やむを得ず紙焼きの場合は、裏面にクラブ名及び氏名を必ず明記し、ご郵送ください。

■RI 日本事務局

会員の入会、退会、変更(職業分類・会員資格・住所など)は必ずその都度 RI 日本事務局へお知らせください。

■重要なお問合せ

間違いが起こらないよう、E-mail(info@ri2710.com)にてお問合せください。

■緊急連絡

各クラブにおいて緊急の連絡に対応できる態勢を整えておいてください。

■特別寄付者

米山記念奨学会及びロータリー財団への特別寄付者については、その都度、至急地区事務局へご報告ください。尚、米山功労者、ポール・ハリス・フェロー等については回数も同時にご記入をお願いいたします。

■ロータリーの友、ガバナー月信について

ロータリーの友、ガバナー月信の精読を、例会時に強調してください。

■クラブ週報について

ロータリーの友編集部より、クラブ週報送付の要請がありました。現在友編集部へ送付されているクラブにつきましては、引き続きお願いいたします。送付されていないクラブにつきましては、郵送またはメール(hensyu@rotary-no-tomo.jp)にて、友編集部宛にお願いいたします。送付間隔は週単位、月単位などクラブで自由に決めていただいて結構です。

文庫通信

309号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介をいたします。

■ロータリアンの著書より(2)

ガバナー読本	直木太一郎	1973	40p
ロータリー・ニュース 1983年-85年	直木太一郎	神戸 R.C.	1985 98p
童心に学ぶ『ロータリーの本質』	中山 義之	川崎幸 R.C.	1994 11p
ロータリーの追続けるもの-米山梅吉の夢は	中山 義之		1998 20p
ロータリーにおける革新と保守について	中山 義之		1999 41p
ロータリーの国際性について	中山 義之		1999 16p
ロータリーの職業奉仕の概念と各論について(職業奉仕研修会記録)	深川 純一		1997 56p
職業奉仕論ノート	深川 純一		1998 60p
ロータリー学入門-クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕	深川純一・田中 毅	D.2680	2003 89p
素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝(1)	戸田 孝		2006 207p

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03)3433-6456 FAX: (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時～午後5時 休館: 土・日・祝祭日

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F

TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>



おもてなし、きくばり、たっぷり、しものせき!

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区



地区大会

関門橋

赤間神宮

海峡
ゆめタワー

奉仕活動を見直そう
—新しい奉仕活動への挑戦—

先帝祭
上賜道中

薩流島の決闘
宮本武蔵 VS 佐々木小次郎

高杉晋作

壇ノ浦の戦い 源義経 VS 平知盛

フク刺し

2013年
10月5日(土) 6日(日) 7日(月)

記念講演

講師

かぎやま ひでさぶろう
鍵山 秀三郎



プロフィール

1952年、疎開先の岐阜県立東濃高等学校を卒業。1953年、自動車用品会社「デトロイト商会」に入社。1961年に独立して「ローヤル」を創業。1997年、東証第一部上場とともに、社名を「イエローハット」に変更。1998年には同社取締役相談役に就任。2010年9月に退社。誰にでもできる簡単なことを徹底して実践する「凡事徹底」を信条とし、創業以来「掃除」を続けている。創唱した「日本を美しくする会」の活動は国外にも広がっており、現在は同会の相談役を務めている。著書に「凡事徹底」、「あとからくる君たちへ伝えたいこと」(致知出版社)、「正しく生きる」(アスコム社)などがある。

1日目

10月5日(土)

大会諸委員会 歓迎昼食会
(シーモールパレス)

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
(シーモールパレス)

会長幹事会 基調講演
(下関市民会館)

日韓交流パーティー
(シーモールパレス)

2日目

10月6日(日)

本会議 記念講演 大会懇親会

山口県国際総合センター 海峡メッセ下関

ミニ観光

3日目

10月7日(月)

記念ゴルフ大会 会場:下関ゴルフ倶楽部



国際ロータリー第2710地区

2013-2014年度 ガバナー

沖田 哲義

地区大会
事務局

〒750-0067 山口県下関市大和町1丁目4-8 水産会館2F(下関ロータリークラブ内)

TEL:083-250-5444 FAX:083-266-7073

E-mail:ri2710taikai@abeam.ocn.ne.jp

ホストクラブ 下関ロータリークラブ コホストクラブ 長門ロータリークラブ・下関東ロータリークラブ・油谷湾ロータリークラブ・下関西ロータリークラブ・下関北ロータリークラブ・下関中央ロータリークラブ